



1月の園だより

学校法人志賀学園

松の実こども園

令和6年1月9日

あけましておめでとうございます

お正月は、かるた取りやすごろく、たこあげなど、お正月ならではの伝統的な遊びを楽しんだご家庭もあったことと思いますので、園でも引き続き楽しんでいきたいと思ひます。

元日の夕方、能登半島で大きな地震が発生しました。2日には、羽田空港の滑走路上で航空機が衝突した事故もありました。被災や被害に遭われました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。テレビやネットでは、毎日のように衝撃的な映像が流れています。子どもたちは、大人が思う以上に恐怖を感じ、ストレスを溜め込んでしまう場合もあるということです。そんな時は、お子様の話しを最後まできちんと聞いてあげたり、抱きしめたり優しくさすってあげたりして、安心させてあげることも大切ですね。

さて、新しい年を迎え、志賀学園の職員の初顔合わせを4日に行いました。理事長先生の年頭の挨拶で、令和6年度に向けて『子どもたちが「好き」なこと、ものに出会える園になろう』と、教育・保育方針が発表されました。それには、

1、子ども一人ひとりに愛情をもってかわり、そのこどもの育ちをよく理解していく。子どもたちの『好き』（興味・関心）に寄り添える保育環境づくりや、子どもたちの『好き』を大切にす保育の提供が大事です。自分が好きなこと、楽しいと思えることは、好奇心や探求心を育て、自己肯定感なども養われていきます。

2、子どもにも保護者の皆様にも、安心・安全な環境を整える。園バス使用時の安全確保。装置に頼るだけでなく、運転手・添乗の先生で確認、毎朝の出欠確認の徹底をする。（それには保護者の皆様方の欠席の連絡や送りのご協力も、9時頃までをお願い致します。）

流行する病気の対応を意識し、市内の感染状況を把握し対応する。おもちゃなどの消毒、教室の清掃、園庭遊具の点検、自然災害（地震・台風等）の発生に備え避難訓練を実施する。

3、子どもたちに多様な体験をさせ、感性を育てる。園外保育で公園などに出かけたり、園舎内外で自然散策をしたり、日本の良き伝統を伝える。日本古来の行事を経験したり、年齢に応じて分かり易く伝える。

以上のことをふまえて、園では子どもの好きな物事に気付いて可能性を広げ、家庭では経験できないことをお友だちと経験し、楽しく過ごしていきたいと思ひます。

11日は「鏡開き」です。こども園では、神棚にお供えしていた鏡餅を小槌でたたいて開き、給食室で揚げ餅にさせていただき、無病息災を願って子どもたちで食べます。

3学期は一年の締めくくりであり総仕上げの時期です。子どもたちがより充実した生活が送れますよう、職員一同努めて参ります。今年も宜しくお願ひ申し上げます。